

「大地」と「こころ」を感じる草原のふるさと モンゴルとの交流にあなたも参加しませんか

大好きなモンゴル展実行委員会
NPO 法人 環境創生研究フォーラム

モンゴルは、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の直後、真っ先に毛布や手袋などの支援物資を届けてくれた大恩の国です。昨年の東日本大震災に対してもモンゴル全土の行政機関、民間企業、国民が義援金を拠出し日本に送ってくれました。

神鋼環境ソリューションの若者たちは、兵庫県の地元で働く立場から、何かモンゴルに恩返しをとの思いを抱き、1999年から独自でモンゴルとの交流活動を行ってきました。

単に「豊かな国」からの一方的な「支援」ではなく、「心の通い合う交流」を合言葉とした彼らの13年間の活動は、「心をつなぐ金の架け橋」として築かれ、着実に活動の裾野を広げています。

急速に経済発展を進めるモンゴル。しかし、現在も国民の大半は家畜と共に遊牧の生活を送っています。「大地」と「こころ」を感じる草原のふるさと。モンゴルとの交流にあなたも参加しませんか。



今後の事業内容について

- ・チャリティによる図書贈呈と交流活動
→ 人材育成・教育環境の整備・教員交流
- ・モンゴルをフィールドとした
体験・学習型エコツアーの実施
→ 体験植樹（ひょうごの森）
などの活動を
NPO法人環境創生研究フォーラムと一緒に
企画・実施していきます。

君が草原で流した汗はいつまでも輝いている

海外旅行ガイドブック「地球の歩き方・モンゴル」に紹介されたマルチン村の図書室。

この図書室は、2010年6月に「冷水真吾記念図書室」と命名されました。故・冷水真吾さんは、マルチン村へ初めて派遣した図書贈呈団のメンバーとして、村の子どもたちにバレーボールを教えるなど交流の先駆けとして活躍しました。しかし、彼は2007年12月7日、不慮の事故により若干27才でその生涯を終えることになりました。「いつまでも彼のことは忘れない」、「彼が草原で流した汗をいつまでも輝かそう」。こうした仲間たちの想いから、マルチン村に彼の慰霊と交流の象徴としてのモニュメントが建立され、それと同時に村人が大切に活用している図書室を「冷水真吾図書室」とマルチン村民の総意により命名して頂きました。彼のいのちは今もモンゴルの寒村で輝き続けています。

問い合わせ先

大好きなモンゴル展実行委員会

電話 090-3991-0849

<http://web.mac.com/munkh>

Eメール daisukimongol@gmail.com

NPO 法人 環境創生研究フォーラム

電話 090-5361-7954

<http://www.kankyososei.jp/>

FAX 078-360-3573 Eメール kankyososei@eos.ocn.ne.jp

(チャリティCDの販売について)

モンゴルの風

Chunran & Munkh Sekiya

内モンゴル出身の馬頭琴奏者 春蘭 と、
ムフ&エグシグレンの
コラボレーションアルバム

全10曲収録

販売価格 2000円

モンゴルの曲5曲 他オリジナル

ウランバートルにある日本センター所長の
森川秀夫氏（前JICA兵庫所長）作詞による4曲
も挿入しています

このアルバムの収益金は、全額モンゴルとの
交流事業として 活用させていただきます。
ご協力よろしくお願ひいたします。



収録曲

1. 草原の民
2. 昇る太陽
3. モンゴルの子守唄
4. 海「ダライ」のように
5. 四季の草原
6. 母への想い
7. 愛馬よ
8. 冷たい水
9. 聖なる山
10. ゴビの地を

「草原の風」コンサート

草原の歌姫 春蘭による馬頭琴と歌曲の夕べ

日時 2012年8月24日(金) 19時開演

会場  兵庫県立芸術文化センター

入場料 2000円

モンゴルの音楽と文化を紹介するイベントへの出演は
随時行っています。連絡先は下記の通りです。

E-mail morinhoran2005@yahoo.co.jp

URL <https://sites.google.com/site/shunran2012/>

